

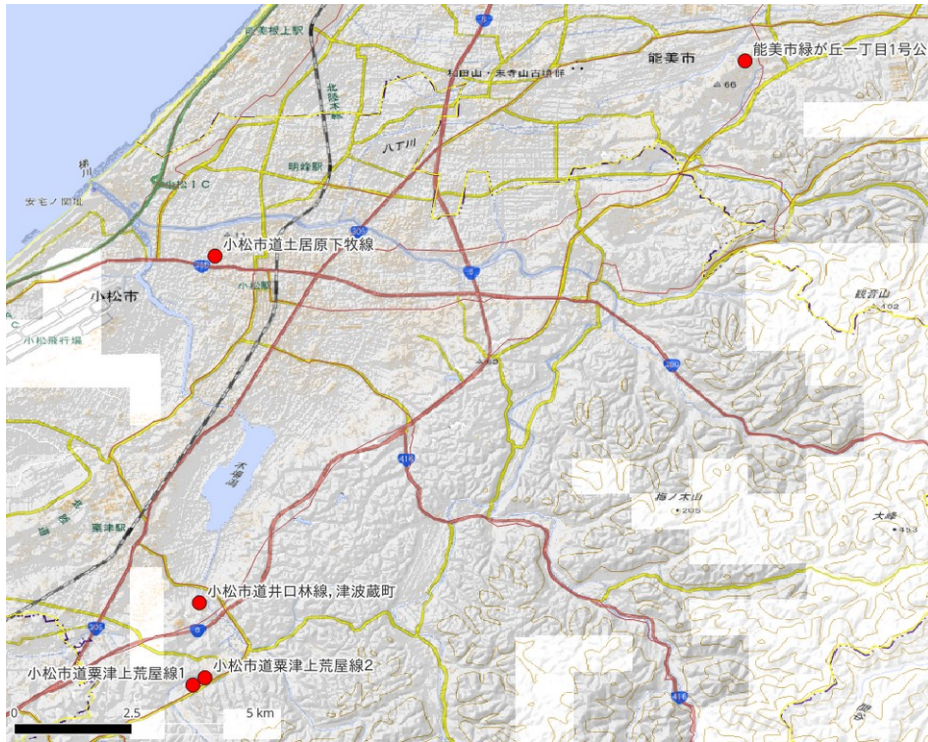
令和6年能登半島地震(能美市～小松市)

金沢工業大学 工学部環境土木工学科
(公益社団法人 地盤工学会 令和6年能登半島地震調査団)

高原利幸 2024.1.7

1. 調査日(1月7日)と調査範囲

自治体の通行止め情報などを元に下記の5箇所および木場潟公園を調査した。



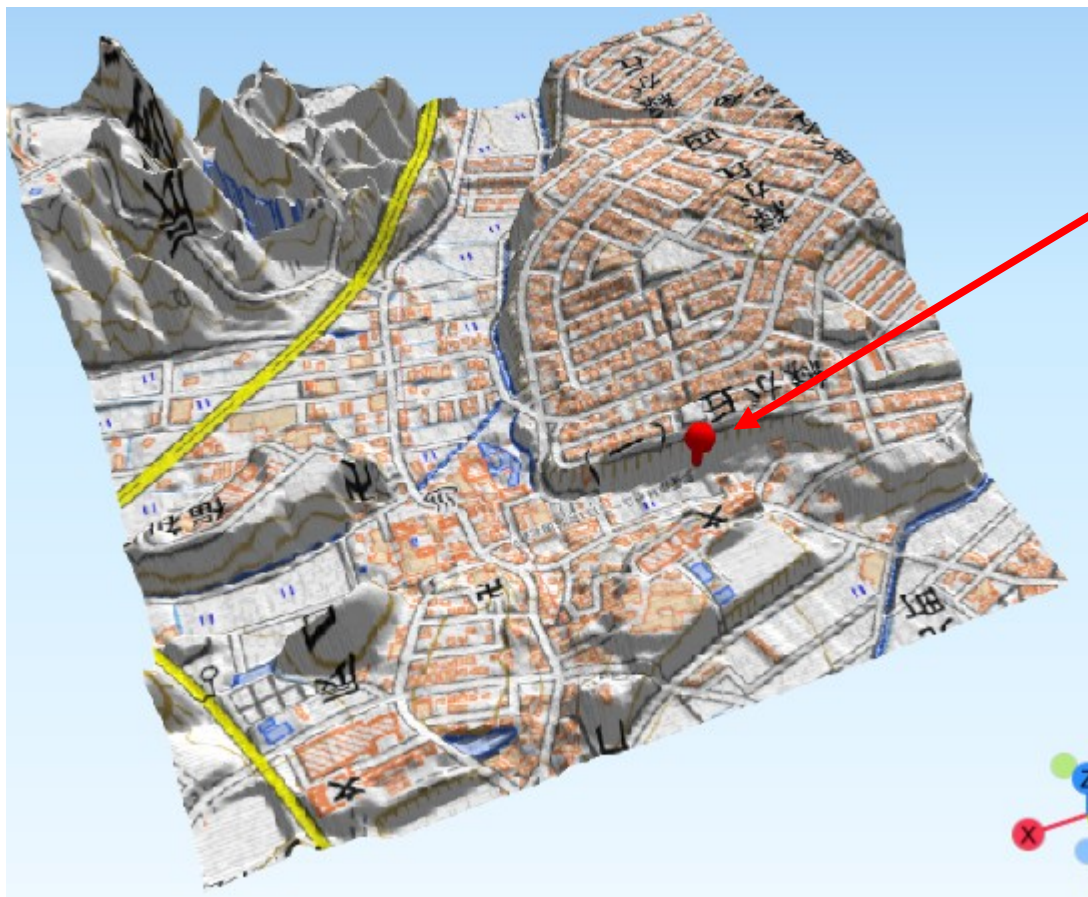
2. 能美市緑が丘一丁目(36.445675,136.542291,JGD2011)



高台の公園から下が崩壊.向いの辰口中央小学校の法面も崩れていた。



辰口中央小学校法面の崩壊(応急復旧済み)



崩壊位置



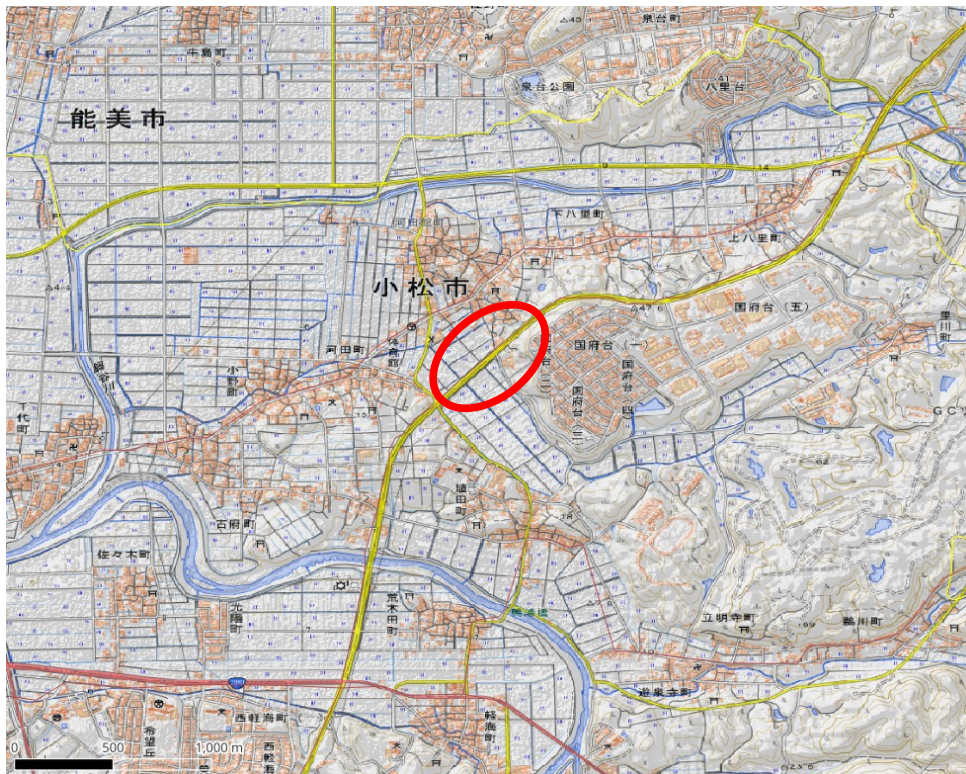
1966年の航空写真



2009年の航空写真(空中写真閲覧サービスより)

崩壊箇所はもともと谷地形で、麓にはため池があったのではないかと読み取れる。不自然に公園があり、宅地にできない理由があったのではないかと推察される。すでに応急復旧済みであった。

2. 加賀産業開発道路(22号, 河田南より北側: 36.414910, 136.512190, JGD2000)





4車線のうち東側のみ.路面にも凹凸が生じていた.

3.その他

小松市の粟津-上荒屋線,井口林線の3箇所の通行止めはいずれも軽微の道路の陥没ですすでに補修されていた.土居原下牧線は荒天のため十分に確認できなかったが,マンホールの浮き上がりによる通行止めと思われた.ただし,他に液状化の発生は認められていない.(いずれも写真なし)

地盤が軟弱であると思われる木場潟公園にも立ち寄ったが,下記の写真の通り問題は発生していないようであった.



木場潟公園駐車場より撮影

以上.